

ホスピタル通信

令和3年4月
第198号

発行：広報委員会

理事長
挨拶

「安心・安全」の理念を全うし
コロナ禍を乗り越えていきます

社会福祉法人 溪仁会
理事長 谷内好

この一年、未曾有のコロナ禍に翻弄され、いまだ終息の兆しが見えない毎日です。

日々の緊張した生活のなかで皆様がたにおかれましては、ご家族との絆や温もりを確かめ合うということもままならない辛い毎日をお察ししております。

ご利用者に何かあってはならない、との思いで職員一人ひとりが必死の思いで励まし合いながら一年が過ぎました。本当に幸いなことに、一部のデイサービスでご不便をお掛けしたことを除いては、溪仁会の全ての施設での感染事故をくい止めて来ることができました。これも皆様のご理解とご協力のお蔭です。あらためて感謝とお礼を申し上げます。

ワクチンの接種が始まります。集団免疫が獲得されて安心な毎日が送れるよう、希望される方全員が早期に安全にワクチン接種できることを願うばかりです。

さて、「安心・安全」は溪仁会の事業運営の理念のひとつです。

療養生活を送る上で安全な環境づくり、災害の際の安全な場所への誘導、基本を守った十分な感染対策、等々私達は先ず必要にして十分な態勢と環境づくりに徹してきました。

この度のコロナ禍にあっても、職員の全員で新しい知見を習得し、施設が一丸となって皆様がたの安全をお守りしてきました。この安全な体制のもとでこそ皆様がたの安心に繋がるとの思いで対応してきました。

今後も変わらぬ思いで努めてまいります。

3年に一度の介護保険制度の改正が行われ、4月から適用されることになりました。リハビリの体制の充実、口腔ケアと栄養管理の徹底など一層の介護の質の向上が図られることとなりました。認知症への対応も強化されます。

厳しい状況が続くなかでこれらの制度改正に対応しながら、引き続き安心で安全な施設運営へのご理解とご協力を宜しくお願ひいたします。



社会福祉法人 溪仁会

コミュニケーションホーム白石

〒003-0024 札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

☎ 011-864-5321

コミュニケーションホーム白石



編集担当者のつぶやき

4月を迎えて、徐々に暖かさを感じる季節になりましたが、昼夜の寒暖差が大きいです。どうぞ皆様、お身体をご自愛下さい。T.H

DAILY PHOTO

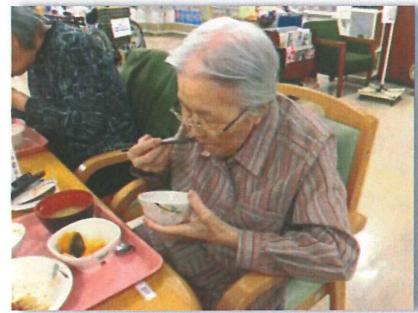
コミ白

ご利用者が、普段過ごされている風景
をご紹介していきます。

レクリエーション



食事の時間



誕生会



日曜日の とある風景





グルメの旅



横浜中華弁当

月に一回、旅の気分や季節のものを味わえるように『グルメの旅』と名付けて、ご利用者に特別メニューを提供しています。

3月は横浜中華街にちなんで『駅弁 横浜中華弁当』が振る舞われました。

皆さん笑顔を見せ、中華弁当を堪能していました。来月以降も予定していますので、どのようなメニューが出るかお楽しみに！

令和2年度 利用者満足度アンケート結果について

コミュニティホーム白石のホームページ内に「令和2年度利用者満足度アンケート」の集計結果を掲載いたしました。是非ご参考下さい。

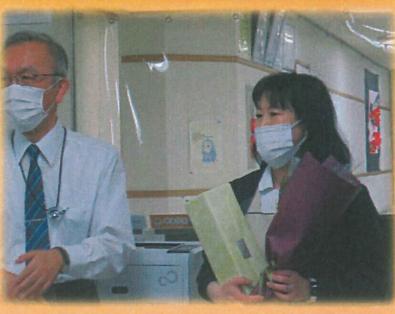
またアンケートにご協力いただきました皆様方には心より感謝を申し上げます。
ありがとうございました。

人事異動

新年度を迎え、宮越副施設長、栄養管理課・仙石課長代理、リハビリテーション部・小路主任が人事異動に伴い、転勤となりました。

皆いつも優しい笑顔でご利用者の方々と関わっていたことと思います。

ご利用者の皆様も別れが惜しいと思いますが、更なる活躍を期待しています。



異動の挨拶

コミュニティホーム白石 副施設長 宮越良彦



コミュニティホーム白石には、平成13年2月から20年間勤めさせていただきました。その間、ご利用者、ご家族をはじめ地域の皆様には大変お世話になり心から感謝を申し上げます。

着任した平成13年は介護保険制度が始まって2年目で、福祉・介護が大きな変化を迎えていた最中でした。介護保険制度は3年ごとに見直しが行われることになっており、本年4月にも改正が行われました。国の超高齢化が進む中で介護保険制度の考え方も大きく変わってきたと思います。老人保健施設には初心に帰り「在宅支援」の取り組みが強く求められています。

コミュニティホーム白石は、「ときどき入所、ほぼ在宅」をスローガンにご利用者の在宅生活を支援します。

コミュニティホーム白石を離れる私ですが、コミュニティホーム白石は全職員が理念の「笑顔・敬愛・向上心」のもと、地域の皆様を誠実に支援させていただくことをお約束します。